



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成29年6月 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ

団体名

トミヤマダックレンゴウチャウナイカイ
富山学区連合町内会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者 職・氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	地域の防災力の向上
事業実施小学校区・地区	富山小学校区
事業実施回数	新規 ・ <u>継続</u> 2回目 / 【 28 年度から】
課題	・富山学区は、地理的には、東西は、東は百間川から西は東山峠までと極めて長細く、南北は北は操山、南は操山の麓から干拓地を中心とする平地となっております。 ・地域別に見ると、操山周辺の地域では、急傾斜地が多く山崩れ・土砂崩れ等の土砂災害の危険を孕んでおり、片や平地地域は、埋め立て地のため海拔1m以下の所も多く、水害・液状化現象による家屋の浸水・倒壊等の災害発生が予想されます。 ・このような地理的条件をふまえながら、28年度は、町民の災害に対する防災意識・防災力の向上を目指し、学区全体の防災マップの作成を行い、全戸の他、幼小中学校、公共施設、医院、等に配布いたしました。マップの作成作業、配布を通し、防災力・防災意識の向上は、かなり図れたと思はれます。 ・しかしながら、前述のとおり当学区は、地域によって災害発生の態様が異なり、一律の防災対策では十分とはいえず、地域の態様に合ったよりきめ細かい防災対策が必要と考えられます。

事業の目的	・前年度、学区全体の防災マップを作成配布をいたしました。29年度はマップの活用状況を確認し、より有効に利用されるように徹底する。 ・学区全体の防災力、防災意識の更なる向上を図るため、町内会・自主防災会を中心として地域に合った具体策を立て、その実現に取り組む。 ・幼小中学校生徒、高齢者、障がい者等に対する対策を強化し、すべての人が安全安心を得られるようにする。
事業の内容	単位町内会毎に防災に対する具体策を策定し、学区連合町内会と協調しながら、防災に取り組む。各町内会での取り組みを強化することにより、学区全体の防災力、防災意識をさらに向上させることが出来る。 具体的な取り組みとしては、以下のような事項を重点的に取り組む ① 町内会長・自主防災会を中心とした地域に合った防災講習・防災訓練等を行う。自主防災会は、全町設置済みであり活性化を図りたい。 ② 防災講習、訓練等を通して、発生が予想される災害の態様、それに伴う危険箇所等の確認把握を行い、防災マップ活用し、安全な避難経路、避難場所を確認設定する。 ③ 災害発生時に備え、防災マップを活用し、備蓄品・持ち出し品の確認と整備、家族間の連絡方法・避難場所等の徹底を図る。 ④ 火災報知器の設置状況、家具転倒防止器具等の設置状況を確認し、全戸設置を目指す。設置の確認については、調査票を作成し、各家庭の状況・問題点を把握、適切な対応を行う。 ⑤ 高齢者・障がい者・子供へ防災対策として、マニュアルの作成、避難訓練を通しての避難方法・避難場所等の確認検討を行う。 ⑥ 幼小中学校での防災マップを活用した学習・訓練を行う。 幼小中学校で「キッズ防火防災教室」を実施する。 ⑦ 町内毎にその地域の危険箇所・避難経路・避難場所等の把握収集を行い、次年度以降の防災マップ作成のための基礎資料作りを行う。 ⑧ 連合町内会において、非常持出品・家具転倒防止器具・火災報知器等のサンプル一式を数個揃え、各町内会単位での防災講習会・防災訓練時に、連合町内会役員が持参の上提示し、各家庭での備え付け・対応を促進する。町内会での利用については、スケジュール化し適正に利用できるよう調整を行う。また、状況によっては、町公会堂・集会所にて展示供覧し、町民の参考となるようにする。 ⑨ 予算、計画から実現させるまでの期間が間に合えば、富山学区独自のデザインを施した非常持出品袋を作成し、町民に広く使用してもらいたい。なお、デザインは防災教育の一環として中学生から募集したい。今年度実現出来なければ、来年度以降の課題として取り組みたい。 これらの事業を効果的に実施し成果を上げるため、単位町内会がやるべきこと、連合町内会がやるべき事を明確に定め、その実行に努めるとともに、お互いの協力、協調を図っていくことが重要になる。

期待される成果・目標	・28年度学区全体の防災マップを作成し、全家庭・公共施設・幼小中学校・医院等に配布し、所定の効果は上げたと思いますが、個々の町内会・町民における防災への取り組み、危機意識はまだまだ充分とは言えない状況です。 ・今回の事業は、全体から個への対応に重点を置き、よりきめ細かな対応により、各地域に合った防災対策を確立しようとするものです。各個人がより身近な問題として防災に取り組むことにより防災意識・防災力の更なる向上が見込めると考えます。 ・さらに、幼小中学校での学習・訓練により子供たちの防災意識、防災力の向上も期待出来ます。 ・高齢者・障がい者等への安全安心対策も住民の力により向上させていきたい。
企画などの工夫	防災マップの作成配布により全体として防災意識・防災力は向上したと思われるが、富山学区の地理的条件から見て、各地域で重点的に取り組むべき内容には差異があるのが実態です。そのため各地域（各町内）単位での地域密着型の取り組みを重点的にを行い、各町内会での連帯意識の向上、防災意識・防災力の向上に繋げたい。 具体的には、町内会長・自主防災会等を通し ・防災グッズ、非常持出品の備え付け状況を確認し、配備を促進する。 ・タンス等の転倒防止策を徹底する。 ・火災報知器の設置状況を確認し、未設置宅への設置を促進する。 岡山防火委員会（中消防署）が、実施する火災報知器の設置状況の確認、設置運動に協力する。 ・各町内会単位での防災講習会、防災訓練を行い、参加人員の拡大を図る。 防災講習会・避難訓練については、連合町内会で状況を把握し、実施内容をまとめる。
協働する団体等	・幼小中学校 防災マップの活用により、防災に関する学習、防災訓練を実施する。 ・富山公民館 公民館主催の講習会を中心に、広く防災に取り組む他、連合町内会の会議等に参画してもらう。 ・電子町内会 広く広報活動での協力、防災関連の資料等参考となる資料の提供を受ける。 ・学区防火防災会 学区の防災訓練の実施、連合町内会との協業 ・学区社会福祉協議会 高齢者、障がい者対策 ・富山消防団 火災、災害発生時の対応、火災報知機の設置作業の応援
事業の情報公開	・「公民館だより」による学区全体へのPR ・学区電子町内会のホームページの活用 ・連合町内会、単位町内会による文書連絡 ・公共の広報機関を通し、富山学区での取り組みを広くPRする。
学区地区への広がり	富山学区全体としての取り組みですが、単位町内会・自主防災会中心のより地域に密着した防災事業とする。

前年度からの見直し拡充点	・前年度防災マップの作成を通して、学区全体の防災意識、防災力の向上を図ることを目的に取り組みましたが、全体的な成果は、充分にあったものと思います。 ・しかしながら、個々人の危機意識・防災意識はまだまだ不十分であると思われますので、今年度は、各町内会単位・自主防災会での取り組みを中心とし、より地域に密着した実態に合った防災対策を立て、防災力の向上を図ることとした。 ・町内会単位で防災に取り組むことにより、住民の参画意識が高まり、より多くの人の参加が期待でき、災害時に適切に対応する力を養うことができると思われる。
次年度以降の予定	① 次年度以後の活動計画 ・次年度以降は、今年度の成果を見た上で検討することになるが、単年度のみで十分な成果が、上がるものではないと思うので、引き続き同様の取り組みをしたい。 ・長期的には、3～5年程度のスパンの取り組みを予定しており、今年度は単位町内会での活動を中心とするが、単位町内会の防災マップ作成など、十分な成果が得られなかった事項については、引き続き実現に向け継続して取り組む。 ② 資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策： 全体予算の枠内で富山学区としてどの程度の資金負担が可能かを検討していきたい。
その他PRしたい点	・ここ数年来、連合町内会・防火防災会・公民館等を中心に防災に関する行事を多く開催してきたが、今後とも継続していきたい。 ・四学区交流会（富山・操南・操明・旭操）で28年度に防災についての協議を行い、学区間の緊急連絡網を構築した。 ・防災マップの作成を通し、町内会長をはじめ防災協議会メンバー等での数多くの会合を開催したことで学区全体での防災への取り組みが大きく進展した。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	
5月 21日	・湊光が丘町内会・湊操山町内会、 防災講習会・防災訓練実施
6月 20日	・連合町内会の幹部会（会長・副会長・会計）会議を開き下半期の区づくり事業についての方向の決定
7月 2日 9日	・福泊川東町内会防災講習会 ・連合町内会第一回町内会長会議を開催し、区づくり事業の取り組みの目的方向やり方等を討議
8月	・事業の承認決定を待ち、町内会長会議を開催。 ・具体的な活動方法等を検討し決定する
9月 10日	・町内会長段階での防災計画書の作成、内容の確認を早期に行い、実行に移す ・8～9月間に、富山中学校で防災マップを活用し、一時避難所・緊急避難場所の認識をさせる。 ・操陽南山町内会防災講習・防災訓練
10月 1日	単位町内会での実施状況を確認 ・湊池の内町内会防災講習会 ・海吉本村町内会防災講習会 ・海吉中村町内会防災講習会
11月	単位町内会での実施状況を確認 ・円山宮西町内会防災講習会 ・円山嶽町内会防災講習会
12月	単位町内会での実施状況を確認 ・福泊町内会防災講習会
1月	単位町内会での実施状況を確認 ・1月10日富山中学校で、地震発生に伴う津波を想定し、実際に近くの若松園までの避難訓練を行う。中学校と協議し学区内外へ広く広報することも検討したい ・キッズ防火防災教室
2月 18日	町内会での実施状況をまとめ、連合町内会として成果を検討 ・学区防火防災会主導の学区全体の防災訓練を実施
3月	連合町内会としての結果をまとめる。 ・山崎本町町内会防災講習会 ・キッズ防火防災教室

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	262, 700	92, 500	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	65, 736	92, 500	
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計	328, 436	185, 000	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	7, 627	10, 200	別紙支出予算明細による
食糧費	15, 313	56, 800	別紙支出予算明細による
印刷製本費	283, 524	40, 000	別紙支出予算明細による
通信運搬費	372		
手数料			
使用料・賃借料			
原材料費	21, 600		
委託料			
報償費			
その他		78, 000	別紙支出予算明細による
計	328, 436	185, 000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

--

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。